

# 「前頭側頭型」って どんな認知症？

前頭側頭型の認知症になると、どんな症状が現れますか。

## A 自分勝手に振る舞ったり 同じ行動にこだわったりします。

**会** 話中に突然立ち去ったり、相手の気持ちを考えない無神経な発言をしたり、人前で言うべきではないことを大声で話したり……。周囲の目を気にせず、わが道を行くかのような人格や行動が目立つのが「前頭側頭型」の特徴です。認知症

全体の割合からすればごく少数のタイプで、初期段階ではもの忘れがほとんどないため、周りから認知症を疑われにくく、「自分勝手になっただけ」という誤解を招きがちです。特異な症状が現れる原因は、脳の前頭葉や側頭葉が萎縮するためです。



同じ席に座れないと不機嫌になることも(常同行動)



指導 浦上克哉  
鳥取大学医学部  
認知症予防学講座・教授、  
日本認知症予防学会理事長

前頭葉は脳の前のほうに位置し、意思や思考を司ります。側頭葉は脳の側面にあり、嗅覚や聴覚、言葉の理解を司ります。前頭葉にはさまざまな状況を判断して行動の指令を出す役割があり、これが機能を失うと、自分の行動がどんな結果をもたらすかを予想できなくなり、そのため悪気なく、本能のままに振る舞うようになります。礼儀やマナーに反する言動だけでなく、人のものや店の商品を無断で持ち去ったり、赤信号を無視したりするなど、社会のルールに反する行動を起こすケースもあります。前頭側頭型のもう一つの特徴が、同じパターンの

行動を繰り返す「常同行動」。例えば、毎日同じ時刻に同じ場所に行こうとしたり、毎回同じ席に座ろうとしたり、それを邪魔されたと感じると怒ったりします。同じ食品を際限なく食べ続ける、甘いものや味の濃いものを好むようになるなど、食生活を著しく乱すような症状もあります。前頭側頭型は、40〜50歳代の働き盛りの人が多く発症します。本人の社会的な立場や健康を守るためにも、**早期の発見が重要です**。以前と人格が変わったように思えたり、衝動的で無分別な言動が増えているようなら、すぐに専門医を受診しましょう。

### 前頭側頭型認知症の特徴

前頭側頭型は、初期段階ではもの忘れが目立たない認知症です。法律に反する行為を繰り返し、認知症と気づかれずに刑罰を科せられる恐れもあります。

#### こんな変化に注意!

- |  |   |
|--|---|
| <p><b>社会性の欠如</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 店頭や人の家にあるものを勝手に食べたり持ち去ったりする。</li> <li>● 恥ずかしい言葉を平気で口にする。</li> <li>● 行列に割り込む。</li> <li>● 交通ルールを守らない。</li> </ul> | <p><b>食行動異常</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 甘いものや味の濃いものばかり食べる。</li> <li>● あればあるだけ食べ続ける。</li> <li>● 飲酒や喫煙が増える。</li> </ul> |
| <p><b>常同行動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 同じ時間に同じ行動をしないと不機嫌になる。</li> <li>● 同じ食べものや同じ服にこだわる。</li> </ul>   | <p><b>言語障害</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 相手の言葉が理解できず、会話が成り立たない。</li> <li>● 相手の言葉をオウム返りする。</li> </ul>                   |